



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

# わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ  
<http://waka-kusa.net/>

発行  
志津南地区自治連合会  
連絡先  
志津南市民センター  
(公民館) 563-6206

## 自治連事務局長を募集

志津南地区自治連合会が事務局長を募集します。応募資格、業務内容などは次の通りです。

### 応募資格・要件

自治会活動、地域行政に関する知識を有するとともに、インターネット、ホームページ作成などパソコン活用の経験を持っていること

### 待遇

有償ボランティア(月額1万5千円程度)

### 委嘱期間

平成19年4月1日から1年間

ただし、双方に異議がない場合は1年毎に自動更新

### 募集期間

平成19年2月20日から同年3月10日まで

### 業務内容

自治体への各種申請手続き、自治連文書保存管理

自治連合会、町内会総会議案書の作成

会議出席と議事録作成補助

夏祭り事業の事務処理、会場設営に関する事項

広報紙「わが町志津南NEWS」の発行に関する編集・校正・印刷・取材などの業務

志津南ホームページに関する業務

その他、自治連合会長が必要とする業務

執務場所 若草第5集会所事務室ほか業務に必要な場所

### 執務時間

原則週3回(月・水・金の午前中)

その他業務が発生した場合

希望者は所定の用紙(市民センター備え付け)に記入し、志津南市民センター所長に提出して下さい。採否は、平成19年3月19日以降に19年度自治連合会長と面談の上決定します。



正月の飾りつけなどを燃やす参加者

## 左義長に350人参加

### 燃える炎に一年の無事祈る

正月の恒例行事、左義長(志津南地区自治連合会主催)が1月14日、若草中央公園で行われ

ました。当日は好天に恵まれ、自治連合会の最後の事業とあって、各

町内会長はじめ、関係者は朝から準備におおわらわ。

事前にCATV放送でお知らせした効果もあり、地域住民ら約350人が参加。それぞれが

お正月の飾りつけやお札類、子どもたちの書き初めなどを勢いよく燃える炎の中に投げ込み、

この一年の無事を祈りました。

子ども会や健康推進員、ボランティアによるぜんざいや甘酒

中華スープに加え、お酒も振る舞われました。また参加した子どもたちへのお土産も準備、住民同士が楽しく話を交わすなど、大いに盛り上がりました。

## 人権の課題克服へ

### 社会の風潮を直視して

志津南地区同和教育推進協議会と志津南市民センター(公民館)共催の町内学習懇談会、公民館自主教室合同の研修会が1

月27日夜、公民館で開催され、約60人が参加しました。最初に今年度町内学習懇談会について各町代表者から報告の

後、「命・人権の課題」と題して財団法人滋賀県人権センター

の松村勝さんが講演「写真」。松村さんは、渡り鳥であるコ

ハクチョウが長い旅をともにする仲間をいたわりあつて生きていく生を数々の写真を示しながら例に上げ、人間社会の在り

方に言及しました。

最近、世間の耳目を集めた近親間の殺人や虐待、また学校を舞台にしたいじめの問題など、「命・人権」が軽んじられている事件が多発している現実を指摘、憲法で定められている基本的人権、法の下での平等について、今一度よく考えた上、家庭で大人が担う役割を見つめなおし、子どもや孫に伝えるべきことを伝えてほしいと訴えました。



これを機会に左義長を住民のお楽しみ行事にして行きたいと考えています。

子供会の役員はじめ、ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

(自治連副会長 古田則昭)

# ワクワクもちつき大会

## 南っ子「キネが重かった」

「わんぱくプラザ南っ子」恒例のもちつき大会が地域協働合

校の協力を得て2月3日、志津南市民センター（公民館）で行



「もちつき」ってむずかしい！

われ、子どもたちとスタッフ計約70人が本物のウスとキネを使っただもちつきを楽しみました。キネの使い方などを聞いた子どもはまず手洗い。その後、用意された2組のウスとキネを手



かむことの重要性学ぶ

志津南市民センターの食育講座「美味しく食べて健康な毎日」が1月18日と2月1日にそれぞれ

れ開催されました。

1回目は、滋賀医大歯科口腔外科学の山本学教授が「咀嚼（そしゃく）」について解説、噛むことの大切さを説きました。

## おいしく食べて健康に

### 食育講座で食の秘訣学ぶ

乳歯が生えてくるころのあごの骨格から、入れ歯、インプラントなどの話を通して、日本人の最近の食生活が「やわらかいもの、温かいもの、甘いもの」に流れ

ており、そのためにあごが発達せず、32本の歯が並びにくくなっ

と。参加者から3歳の孫のおやと、山本教授は「できれば甘い物は避けられた方がいい」と注意を促しました。

参加者全員でワイワイガヤガヤ、おしゃべりしながらみんなで賞味しましたが、中には家族のために持って帰る人も見受けられるなど好評でした。



インドネシア料理に挑戦

ネシア料理を手ほどき。鍋を使って、砂糖、塩、コショウのほか、グ

てきている、と警鐘を鳴らしました。「80歳で20本」。その言葉をスローガンに歯科医師会の先生方も日々がんばっているとのこ

2回目は2月1日は草津市在住で国際交流ボランティア活動などで活躍している森良子さんがインドネシアに滞在していたころの食生活をもとに、インド

にそれぞれヨーイドン。少し小さなキネでしたが、それでも重くてうまく使えない子が多い中、大人顔負けでもちをつく子どもも見受けられました。つき上がったもちは、きな粉もちとあんもちにして食べましたが、子どもたちは口々に「おいしい」とさかんにほおぼっていました。

わんぱくプラザ南っ子会長の大倉清廣さん、地域協働合校会長の上田恒章さんは「ゆとり教育で子どもたちはとまどっている。スポーツ少年団などに入っている子はいいが、そうでない子どもたちにもふるさと草津の思い出を作ってもらいたい」と話していました。



ホームページづくりに悪戦苦闘

### 市民センターパソコン講座

## ホームページをつくろう

志津南市民センターは1月下旬の3日間、ホームページづくりを学ぶパソコン講座を開催し

ました。今回の講座では、ホームページ制作の専用ソフトは使わず、

HTML（ハイパーテキストマークアップ言語）というコンピュータの言語を入力する方法で作成。受講生9人全員が初めてホームページづくりを体験しました。キーボードを叩いているうちは無味乾燥な記号や文字の羅列

にしか見えないものが、ブラウザ（ホームページ閲覧）ソフトで確認すると、背景にちゃんと色が付いていたり、写真が表示されています。他のワープロソフトなどのようにすぐに結果を確認できないもどかしさを感じながらの作業でした。

一言一句、入力ミスが許されない過酷な講座は、いつになく緊張感に包まれていましたが、苦心の末、画面に自転車に乗った女の子のアニメーションが現れたときには、ホッとする場面も見受けられました。

受講生の皆さんに取り組んでいただいたのは「わが町志津南ニュース」掲載の「お店拝見のインターネット版です。根気づよく地道な努力の結果、すばらしい作品が完成しました。受講生の皆さんには「若草ネット」のひとつのコンテンツ（番組）としての公開を了承してもらいましたので、ぜひ一度ご覧ください。

受講生の苦悩が、ブラウザソフトの表示メニューの「ソース」をご覧ください。ただそれかと思いきや、志津南ホームページのアドレスは1面の題字横に掲載しています。



若寿会が新年会

福笑いで初顔合わせ

志津南地区老人クラブ連合会（若寿会）は1月8日、志津南市民センター（公民館）で新年懇親会を開催、会員の家族も顔



福笑いに興じる会員

をそろえ新年のあいさつを交わしました。亥（い）年にふさわしくこの一年、元気に突っ走ることを誓い合いました。

第二部は目隠ししての「おたふく」遊び。全員が参加してお多福さんのまゆ毛、目鼻、ほっぺ、口を並べ、完成した顔にあちこちで笑い声がわきました。みんなで福の神を呼び込み、この一年、笑いのある楽しい毎日が過ごせることを願いました。第三部では三角くじ引き大会

を開催、当たりくじは大福、大吉、凶までありましたが、誰も凶を引くことなく、よいことづくめで会を締めくくりました。「あけまして亥福大吉初笑い」。

高川さんに理事長賞

市子ども会書き初め大会

志津南地区子ども会の書き初め大会が1月6日、志津南市民センター（公民館）で行われました。

当日は雨の中、37人の子どもたちが参加、低学年と高学年に分かれ、3丁目の西口青咲さ

地域のみなさんには今年も若寿会活動へのご理解、ご協力をよろしく願います。

（若寿会）



筆をふるう子どもたち

ら書道の先生方に指導してもらいながら、初春の心も新たに筆をふるいました。子どもたちは書き初め用紙に

向かい真剣な表情で思い思いの言葉を文字に託していました。この日の作品を草津市子ども会書き初め大会に出品した6年

生の高川梓さん（岡本町）がコミュニティ事業団理事長賞を受賞したほか、初めて筆を持ったという一年生の塚田悠太郎君を含む9人が入賞を果たすなど志津南地区の子どもの健闘が光りました。入賞作品は平和堂草津店に展示されたあと、草津市まちづくりセンターにも展示され、たくさんの人たちに作品を見ていただくことが出来ました。（子ども会）

肥満解消法など学ぶ

栄養満点料理の実習も



楽しく調理実習

する「健康日本21」計画の一環で、「自分の身体レベルや生活スタイルにもとづいた健康づくりを実践し、自分の目標を達成する人」としています。

今回は、食と健康に関する講義と調理実習が行われました。参加者は男性ばかりで、普段料理をする人もいれば、初めてエプロンをつける人まで様々。

健康推進員連絡協議会主催の「ヘルスサポーター教室」が1月27日、志津南市民センターで行われました。ヘルスサポーターは国が提唱

た。

また、身長と体重からBMI指数（身長からみた体重の割合を示す体格指数のこと）と標準体重を出し、自分の現状を知って驚く人も多く、栄養バランスの大切さを改めて実感していました。

調理実習では栄養満点の里芋パンプキンなど5品に挑戦。健康推進員の説明指導に従って、料理に取り組みましたが、慣れない手つきながら、声を掛け合うなど、調理を楽しんでいました。

参加者は笑顔で「今日学んだことを家でもやってみよう」と話していました。（龍大学生取材班）

切り紙などで絆深める

ファミサポキャラバン隊

草津市の子育て支援事業「ファミサポキャラバン隊」がこのほど、志津南市民センター（公民館）を訪れ、若いお母さんたちがゲームなどを通して子どもたちとのきずなを深めました。

この日、同公民館を訪れたキャラバン隊の福田由美さんから3人のスタッフは、カラーボールなどの遊具を使ったゲームや紙工作、絵本読みなどでお母さんたちに子どもの遊ばせ方を学んでもらいました。

参加した3〜4歳児を持つお母さんら16人は約2時間、工夫をこらした、実技にうつな

きながら、子どもと充実したふれあいのひと時を過ごしました。同キャラバン隊は草津市のファミリーサポートセンターがNPO法人「天気村」（本部・草津市東草津）に委託、各公民館などを巡回して子どもとの接し方や遊び方、子育て相談などのサポートを行っています。（龍大学生取材班）

22日にすこやかセミナー

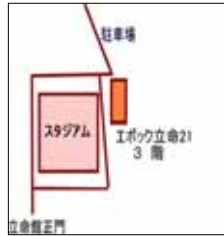
青少年育成区民会議は志津南小創立20周年記念として、同実行委員会との共催で2月22

日（木）、志津南小学校で第3回「すこやかセミナー」を開催します。講師にはNHK「趣味の園芸」のキヤスターでお馴染みの柳生真吾さん（八ヶ岳倶楽部代表）を予定しています。セミナーは2部に分け、第一部は午前9時〜11時までの2時間、5・6年生を対象に写真を見ながら「ぼくの私の校庭大発見」と題してお話を聞きます。第二部は一般の方を対象に午前11時〜12時まで「自然のエネルギーにふれて」子ども達に今伝えたいこと」と題する講演です。多数のご来場をお待ちしています。

### ごみ

- 2月17日(土) 紳士淑女の井戸端会議 『移ろう世相と変わらぬ心』 10:00~12:00
- 2月19日(月) 家庭教育支援講座 『ドラえもんとあそぼう』 10:30~11:30
- 2月22日(木) 第3回すこやかセミナー 講師：柳生真吾氏 11:00~12:00 志津南小体育館
- 2月23日(金) 若寿会：月例会 13:00~16:00
- 2月24日(土) 若寿会：社会奉仕 8:45 若草中央公園集合
- 2月26日(月) 市・県民税申告相談会 10:00~12:00、13:00~15:00
- 2月27日(火) 地域サロン：懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 2月28日(水) やすらぎ学級 『SPレコードで聴く、懐かしの唄』 13:30~17:00
- 3月2日(金) 定例健康相談 10:00~12:00 市健康推進課 ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
- 3月3日(土) 若寿会健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
- 3月9日(金) ファミサポキャラバン隊 10:00~12:00 草津市ファミリーサポートセンター
- 3月10日(土) わんぱくプラザ南っ子 『お楽しみ会』 10:00~12:00
- 3月13日(火) 地域サロン：懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 3月14日(水) やすらぎ学級(館外) 『閉講式&お楽しみ会』 9:30~16:00

印の会場は志津南公民館



## 味よし眺めよし

### フランス料理

### ランチレストラン



<http://www.creotech.co.jp>

「日替わりのメインディッシュ以外はサラダ、パン・ごはん、スープ、デザート、コーヒー・紅茶はバイキング方式でお代わり自由。お値段は九百八十円均一。アルコール類は一切ない。ジュースもない。琵琶湖ホテルのシェフが手がけているだけに評判はいい。なかでも「ソースが独特のハンバー

グの人氣が高い」(新本圭太郎 マネージャー) そうだ。総ガラス張りのラウンジは開放感にあふれ、遠く比良連峰を望みながらゆったりとした気分が食事が楽しめる。ただ、客席が43と少なく、相席を避けていることから予約しておく方が無難。また6歳以下の幼児は利用できないので要注意。

メニューはホームページ(写真下)でも紹介している。

場所 野路町  
電話 (561) 2700  
営業 月~金曜日(平日) 11:30~12:50  
夏冬の学期休みは休業  
一部 11:30~12:50  
二部 13:00~14:30  
定休 土・日・祝日  
駐車 可(正門受付で入構許可を得る可)  
予約 9:00~17:00



最近、構内に学生食堂とは別に一般市民が利用できるレストランを設けている大学が増えている。開かれた大学のイメージアップの手段の一つだ。手ごろな値段で味もおいしい、と好評だ。そんなレストランが身近なところにもある。

立命館大学びわこ・くさつキャンパス。正門から入って突き当たりを右に折れ、道なりに進むと右手に「エポック立命21」という建物がある。この3階にあるのがフランス料理のランチレストラン。1階の受付であらかじめ食券を手だけを提供している。

「お草かいわい」のイメージアップの手段の一つだ。手ごろな値段で味もおいしい、と好評だ。そんなレストランが身近なところにもある。

### みんなの広場

団塊の世代の大量退職がさまざまなメディアでクローズアップされています。この世代の人々はそれぞれに、家族、地域、国、世界へと広がり求め高度経済成長を担い、社会の中で競い合い助け合ってきました。

定年時期を迎え、人々の生活意識は、国から地方へ、さらに地域へと回帰していきまます。

若草の町に住んで20年、ふるさと意識とまでは言えないにしても、生活の基盤となる地域社会としてこの町を意識するようになってきました。

高齢化も徐々に進み、この町がどのような構成になっているのか。ネット掲示板のアンケート集計などを見ると、高齢化の実態がわかり、どのような町にしたいのか、何が求められているのか、世代層別の要望内容も捉えることができます。

この町をより住みよい町にしていくためには、防災・防犯対策、町内会・自治連合会のあり方(高齢化に対応した組織改革や行事参加の負担軽減など)、身近な問題(めいわく駐車、ペットのフンの後始末、空き缶やタバコ)のポイ捨て、自宅周囲の清掃など)、さまざまな問題点があるようです。

### 住みよさ町へ

地域の町で共に助け合いながら暮らしていくことを大切にしたい。信頼関係を築きながら、情報を共有し知恵を出し合ってきたものです。(6丁目)

### 26日に住民税相談

2月26日(月) 午前10時から正午までと午後1時から3時までの各2時間、志津南公民館で県民税・市民税の申告に関する「お出かけ相談」が開かれます。草津市民の方は申告書の提出も受理されますのでご利用ください。